

みんなであつくり
多文化共生社会

愛知県小中学生向け多文化共生理解教材



みんなであつくり
多文化共生社会

愛知県小中学生向け多文化共生理解教材

はじめに

愛知県には、たくさんの外国人や、外国につながる人が暮らしています。みなさんは、文化や言葉の違う場所で生活したことはありますか。日本で暮らす外国人や外国につながる人について、どんなことを知っていますか。

この教材は、実際に日本で暮らしている外国人や外国につながる人たちと一緒に作成しました。教材の中に出てくるエピソードは、どれも実際にあった話です。

教材を通してみんなで感想を話し合ったり、質問し合ったりしながら、様々な文化や言葉を背景に持つ人たちが一緒に暮らすことについて考えてみてください。

目次

1章 文化、異文化、多文化共生とは？

1. 「文化」とは？
2. 「異文化コミュニケーション」を考えてみよう！
3. 「多文化共生」とは？
4. 多文化共生を進めるには、みんなの協力が必要！

2章 移住するとは？

1. 移住することの意味
2. 日本人が諸外国に「移住」した時代もあった
3. 海外に移住した人の気持ちを考えてみよう
4. 移住する人は、みんな夢を持っている

3章 食は心のふるさと

1. どの人も自分の国や地域の料理を食べるとホッとする
2. 多文化ご飯を作って食べよう！
3. 愛知県の多文化料理を検索しよう！
4. 相手が食べているものは、どんな食べ物かな？

4章 多文化共生のためのコミュニケーションを考えよう

1. 日本語で話しかけてみよう
2. 「違う」という言葉の意味を考えよう
3. 日本語が間違っても、笑うのはやめよう
4. 外国につながる人の多くは言語能力がすごい！

5章 身近な多文化共生を探そう

1. アンテナを張れば多文化共生の手がかりはたくさん見つかる！（生活情報編）
2. アンテナを張れば多文化共生の手がかりはたくさん見つかる！（食品編）
3. 大須商店街を探検しよう
4. チャレンジ：自分の地元で、多文化共生の手がかりを探そう！

6章 色々な人と仲良くしよう

1. 困った時に声をかけてくれた人のことは決して忘れない
2. 友達になるには、色々なきっかけがある
3. きっかけを作ろう！
4. 振り返って考えてみよう

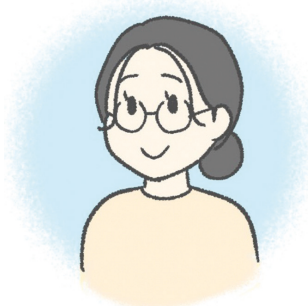
用語の説明

この教材では、「外国人」ということばをよく使っています。現在、愛知県には、150を超える国籍を持つ人が住んでおり、この教材では、そうした日本以外の国籍を持っている人を「外国人」と呼んでいます。一方、本人が日本国籍を持っていながら、両親のどちらかが外国出身である人や、外国で生まれ育ち、大きくなってから日本で暮らしている人（「外国にルーツがある」人もいう）も増えています。外国人とこのような背景を持つ人を合わせて「外国につながる人」と呼んでいます。

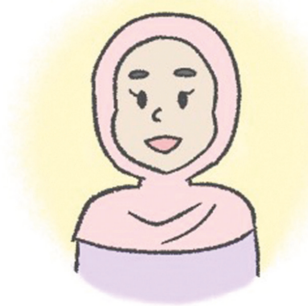
豆知識(1)

ピアはイスラム教徒（ムスリムともいう）です。イスラム教徒の女性は、家外では髪の毛を見せないという習慣があります。そのため、ピアはいつも「ヒジャブ」（頭を覆うもの）をかぶっています。

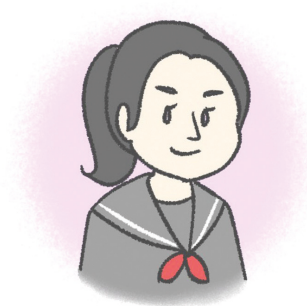
この教材に登場する人物



ラクシャ
留学生、ネパール人



ピア
会社員、インドネシア人



かおり
中学生、日系ペルー人



よーよー
日本語教師、日本人



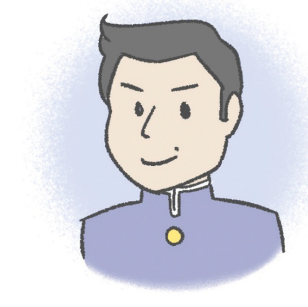
みずも
大学生、日本人



マキコ
社会人、日系ブラジル人



ガー
介護士、ベトナム人



ひろ
高校生、フィリピンにルーツがある



そんさん
会社員、在日韓国人